

I L L 文献複写等料金相殺サービスにおける各機関の会計処理

- ・ 加入機関に対し、会計処理の簡便化を図るために、I L L システムの保有データを提供します。提供するデータについては、「2. 月末の処理」に記す
- ・ 会計処理については、取引発生時に会計処理を行う方法（原則法）と月末にまとめて処理する方法（簡便法）を記すが、処理方法の選択にあたっては各機関毎に必ず経理部及び監査法人と協議されたい。
- ・ 各機関が使用する財務会計システムが異なることから、N I I は汎用仕様としてCSV形式（タブ区切）でデータを提供します。よって、提供データを基に財務会計システムへ自動登録をする場合には、各機関において自機関の財務会計システムとN I I 提供データとを連携するシステムの開発が必要である。
- ・ 財務会計上、依頼側の仕訳には予算科目を持たせることが必要である。表示例を「1-(1)原則法-依頼時」及び「2-(2)簡便法-依頼時」に記すので参考にされたい。

1. 日々の処理

(1) 原則法の場合

各機関において、日々発生する取引を基に取引毎に財務会計システムに登録する。

○受付時の会計処理 ※受付館コードが自機関の場合

未収入金（依頼館コード）	日計額	／	文献複写収入	日計額
(例)				
未収入金（A大学）	10,000	／	文献複写収入	10,000
未収入金（B大学）	20,000	／	文献複写収入	20,000

○依頼時の会計処理 ※依頼館コードが自機関の場合

文献複写料-予算科目コード	予算科目別日計額	／	未払金（受付館コード）	日計額
(例：A大学 = 15,000（内訳：予算科目コード ¹ 123456788が10,000, 123456789が5,000 B大学 = 10,000（内訳：予算科目コード ² 123456782が7,000, 123456789が3,000の場合）				
文献複写料-123456788	10,000	／	未払金（A大学）	10,000
文献複写料-123456789	5,000	／	未払金（A大学）	5,000
文献複写料-123456782	7,000	／	未払金（B大学）	7,000
文献複写料-123456789	3,000	／	未払金（B大学）	3,000

(2) 簡便法の場合

原則の処理によれば、取引発生時に各機関で収益費用計上とともに、各々の相手先毎に債権債務を計上することになるが、取引はI L L システムに記録されていることから、取引の都度の会計処理は行わず、月末に一月分の仕訳をまとめて起こすこととする。

2. 月末の処理

N I I が月毎に提供する当該月の全取引データを基に会計処理を行う。

- ・ 当該データは各機関がN I I のホームページ（専用ページを新設予定）からダウンロードする。
- ・ 月末締めでデータ整理を行い、翌月初日に提供予定。

[データの内容]

- | | | |
|--------------------|------------------|---------------------|
| ① ILLレコード I D (ID) | ② 更新日付 (RNWDT) | ③ レコード状態 (STAT) |
| ④ 依頼館コード (OMLID) | ⑤ 依頼館所属機関コード (新) | ⑥ 依頼ナンバー (ONO) |
| ⑦ 受付館コード (AMLID) | ⑧ 受付館所属機関コード (新) | ⑨ 受付ナンバー (ANO) |
| ⑩ 申込者 (CLNT) | ⑪ 申込者所属 (CLNTP) | ⑫ 貸借複写識別コード (SRVCE) |
| ⑬ 書誌事項 (BIBNT) | ⑭ 支払区分 (ACCT) | ⑮ 合計金額 (SUM) |
| ⑯ 予算科目 (OLDAF) | | |

※ () 内はNACSIS-ILL2におけるフィールド名を示す

(1) 原則法の場合

締切日に各機関からN I I へ債権譲渡されたものとし、N I I に債権を振り替える会計処理を財務会計システムに登録する。

未収入金 (N I I)	未収入金月計額 /	未収入金 (依頼館コード)	未収入金月計額
	/	未収入金 (依頼館コード)	未収入金月計額

この債権譲渡の結果、債務の相手先も各機関からN I I へ振り替わることになるため、その為の振替処理を行う。

未払金 (受付館コード)	未払金月計額 /	未払金 (N I I)	未払金月計額
未払金 (受付館コード)	未払金月計額 /		

(例：1-(1)の取引をまとめた場合)

未収入金 (N I I)	30,000 /	未収入金 (A大学)	10,000
	/	未収入金 (B大学)	20,000
未払金 (A大学)	15,000 /	未払金 (N I I)	25,000
未払金 (B大学)	10,000 /		

(2) 簡便法の場合

月次の締切日で集計された提供データを基に、取引相手先単位での仕訳と債権譲渡に関する仕訳処理を財務会計システムに登録する。

1) 取引にかかる仕訳

○受付側 ※受付館コードが自機関の場合

未収入金(依頼館コード)	未収入金月計額 /	文献複写収入	未収入金月計額
未収入金(依頼館コード)	未収入金月計額 /		

(例)

未収入金(A大学)	10,000 /	文献複写収入	30,000
未収入金(B大学)	20,000 /		

○依頼側 ※依頼館コードが自機関の場合

文献複写料-予算科目コード	予算科目別月計額 /	未払金(受付館コード)	未払金月計額
		未払金(受付館コード)	未払金月計額

(例：A大学 = 15,000 (内訳：予算科目コード^{*}123456788が10,000, 123456789が5,000

B大学 = 10,000 (内訳：予算科目コード^{*}123456782が7,000, 123456789が3,000の場合)

文献複写料-123456782	7,000 /	未払金(A大学)	15,000
文献複写料-123456789	8,000 /	未払金(B大学)	10,000
文献複写料-123456788	10,000 /		

2) 債権譲渡にかかる仕訳

未収入金(N I I)	未収入金月計額 /	未収入金(依頼館コード)	未収入金月計額
		未収入金(依頼館コード)	未収入金月計額

未払金(受付館コード)	未払金月計額 /	未払金(N I I)	未払金月計額
未払金(受付館コード)	未払金月計額 /		

(例)

未収入金(N I I)	30,000 /	未収入金(A大学)	10,000
		未収入金(B大学)	20,000

未払金(A大学)	15,000 /	未払金(N I I)	25,000
未払金(B大学)	10,000 /		

3. 相殺月の処理

N I I が各四半期末日締めで集計し、当該期の翌月初旬に郵送する料金相殺結果通知書を基に会計処理を行う。

◎ 原則法・簡便法共通

各四半期末日の処理としてN I I に対する債権債務の相殺処理を行う。

(1) 債権機関（受付＞依頼）

1) 運営費を含む時

・相殺処理

未払金(N I I)	未払金合計	／	未収入金(N I I)	未収入金合計
文献複写運営費-予算科目コード	10,500	／		
未収入金(N I I)	差額	／		

・N I I から受領した時

現金預金	差額 - 210	／	未収入金(N I I)	差額
振込手数料-予算科目コード	210	／		

(例：文献複写運営費 = 10,500 (予算科目コード`123456666)
振込手数料 = 210 (予算科目コード`123456999)
受付=50,000, 依頼=20,000 の場合)

未払金(N I I)	20,000	／	未収入金(N I I)	50,000
文献複写運営費-123456666	10,500	／		
未収入金(N I I)	19,500	／		

現金預金	19,290	／	未収入金(N I I)	19,500
振込手数料-123456999	210	／		

2) 運営費を含まない時

・相殺処理

未払金(N I I)	未払金合計	／	未収入金(N I I)	未収入金合計
未収入金(N I I)	差額	／		

・N I I から受領した時

現金預金	差額 - 210	／	未収入金(N I I)	差額
振込手数料-予算科目コード	210	／		

(例：受付=50,000, 依頼=20,000の場合)

未払金(N I I)	20,000	／	未収入金(N I I)	50,000
未収入金(N I I)	30,000	／		

現金預金	29,790	／	未収入金(N I I)	30,000
振込手数料-123456999	210	／		

(2) 債務機関（依頼＞受付）

1) 運営費を含む時

・相殺処理

未払金(N I I)	未払金合計	／	未収入金(N I I)	未収入金合計
文献複写運営費-予算科目コード	10,500	／	未払金(N I I)	差額

・N I I に支払った時

未払金(N I I)	差額	／	現金預金	差額+210
振込手数料-予算科目コード	210	／		

(例：受付=30,000, 依頼=70,000の場合)

未払金(N I I)	70,000	／	未収入金(N I I)	30,000
文献複写運営費-123456666	10,500	／	未払金(N I I)	50,500

未払金(N I I)	50,500	／	現金預金	50,710
振込手数料-123456999	210	／		

2) 運営費を含まない時

・相殺処理

未払金(N I I)	未払金合計	／	未収入金(N I I)	未収入金合計
		／	未払金(N I I)	差額

・N I I に支出した時

未払金(N I I)	差額	／	現金預金	差額+210
振込手数料-123456999	210	／		

(例：受付=30,000, 依頼=70,000の場合)

未払金(N I I)	70,000	／	未収入金(N I I)	30,000
		／	未払金(N I I)	40,000

未払金(N I I)	40,000	／	現金預金	40,210
振込手数料-123456999	210	／		